

配信資料に関する技術情報（気象編）第26号

－国際気象通報式第8版及び同別冊の一部改正について－

平成9年11月5日付けで、国際気象通報式第8版及び国際気象通報式・別冊の一部を改正します。改正の内容は下記のとおりです。

なお、今回の改正について新旧対照表も別途用意していますので、詳細な改正内容が必要な場合にはご利用ください。

記

1 国際気象通報式第8版

(1) FM12 SYNOP, FM13 SHIP, FM14 SYNOP MOBIL

- ・自動観測所の現在天気 $w_a w_a$ の追加

自動観測所からは従来通報されなかった霧雪 ($w_a w_a=77$)、氷晶 ($w_a w_a=78$) 及びひょう ($w_a w_a=89$) が通報されるようになります。ただし、気象庁では、『配信資料に関する技術情報（気象編）第13号』（平成9.2.21）でお知らせしたとおり、自動化された一部の気象官署においては既に暫定的にこれらの天気が通報されるように設定されています。

(2) FM18 BUOY

- ・ Q_A （ブイの位置の品質）（符号及び符号表）の追加

新たにブイの位置の精度を示す情報が通報されます。

(3) FM42 AMDAR * 現在は配信していません。

- ・飛行状態の指示符 UNS（不安定）の通報に関する規定

飛行状態が不安定の場合、 $i_p i_p$ に UNS（3文字）が通報されます。

(4) FM65 WAVEOB

- ・観測を行った衛星の識別符 $I_1 I_2 I_2$ の $I_6 I_6 I_6$ への変更

従来は、 I_1 （国名）及び $I_2 I_2$ （各国が割り当てた衛星の識別符）の各表を参照して衛星を識別していましたが、 $I_6 I_6 I_6$ （衛星の識別符）の1つの表で衛星を識別することになります。桁数は同じですが、同じ衛星でも数字符号は異なります（日本のひまわり5号は現在は105ですが152に変更されます）。

(5) FM71 CLIMAT

- ・月間日照時間の平年値に対する割合（％）の通報に関する規定
当該 CLIMAT 報で通報した月間日照時間の平年値に対する百分率が数値で $p_s p_s p_s$ で通報されますが、特殊な場合として現在は平年値が 0 の場合のみ規定されています。本改正により、当該数値が 0 を超え 1 % 以下の場合 ($p_s p_s p_s = 001$)，平年値が 0 の場合 ($p_s p_s p_s = 999$ (現行は $///$))，平年値が不明の場合 ($p_s p_s p_s = ///$) が規定されます。
- ・日最低気温及び日最高気温の欠測日数の通報に関する規定
日最低・最高気温の欠測日数がそれぞれ 1 桁で通報されます。同じ部分は従来は最高/最低気温の欠測日数（2 桁）でした。

(6) FM86 SATEM, FM87 SARAD, FM88 SATOB

- ・観測を行った衛星の識別符 $I_1 I_2 I_2$ の $I_6 I_6 I_6$ への変更
FM65 WAVEOB の変更 ((4) 項参照) と同様です。
- ・資料作成中枢及び副中枢 ($F_3 F_3 F_3 F_4 F_4 F_4$) の追加 (符号表は『別冊』に掲載)
当該気象報を作成したセンター (及びそのセンターの下部組織等) が通報されるようになります。1 群の追加となります。

2 国際気象通報式・別冊

(1) BUFR 通報式 * 現在配信していませんので省略します。

(2) 共通符号表 C-1, C-2

- ・C-1 (資料作成中枢の識別) の改正
当該気象情報を作成したセンターの識別番号が収録されています。
1-(6) 参照
- ・C-2 (ラジオゾンデ/観測システム) の一部改正
新しい 2 種類の高層観測システムが追加されます。

(3) 共通符号表 C-3, C-4, C-5

- ・C-3 (水温プロファイル観測機器の種類) の追加
従来よりある表 (国際気象通報式第 8 版 1770 表) を共通符号表と規定し直したものです。
- ・C-4 (水温プロファイル記録器の種類) の追加
同上。国際気象通報式第 8 版 4770 表
- ・C-5 (衛星識別符) の追加
気象衛星の識別符が収録されています。1-(4) 参照

－国際気象通報式第8版及び同別冊の一部改正－

新旧対照表

平成9年11月5日実施
気 象 庁

新	旧
<p style="text-align: center;">第1章 通報式の名称, 通報型式, 注及び規則</p> <p>FM12 SYNOP-地上実況気象通報式 FM13 SHIP-海上実況気象通報式 FM14 SYNOP MOBIL-地上移動観測所地上実況気象通報式 (略) 規則: (略) 12.2.6.5.4 $w_a w_s = \underline{04}$及び05は, 視程障害が主として大気じん象による場合に用いる。 (略) 12.2.6.5.7 観測時に降水が観測される場合には, $w_a w_s = \underline{20} \sim \underline{26}$は報じない。 (略) 12.2.6.5.10 $w_a w_s = 30 \sim 35$の視程制限は1km未満とする。 (略) 12.2.6.5.13 $w_a w_s = 80 \sim 89$は, 観測時に<u>止み間のある降水又はしゅう雨性降水</u>が観測された場合にのみ報ずる。 注: (略) (略) 12.4.7.1.2 5j₁j₂j₃j₄群を使用する場合は, 次の符号を1つ以上報ずる。 (略) 12.4.7.1.3 <u>5j₁j₂j₃j₄群を2つ以上使用する場合は, これらの群は, 付加群j₅j₆j₇j₈j₉を適切に付加して, 規則12.4.7.1.2に列挙された順序に従って報ずる。</u></p>	<p style="text-align: center;">第1章 通報式の名称, 通報型式, 注及び規則</p> <p>FM12 SYNOP-地上実況気象通報式 FM13 SHIP-海上実況気象通報式 FM14 SYNOP MOBIL-地上移動観測所地上実況気象通報式 (略) 規則: (略) 12.2.6.5.4 $w_a w_s = \underline{05}$は, 視程障害が主として大気じん象による場合に用いる。 (略) 12.2.6.5.7 観測時に降水が観測される場合には, $w_a w_s = \underline{20} \sim \underline{29}$は報じない。 (略) 12.2.6.5.10 $w_a w_s = 30 \sim 35$の視程制限は1km未満とする。 <u>$w_a w_s = 30 \sim 34$は, 主に水滴又は氷晶による視程障害の場合に用いる。</u> <u>$w_a w_s = 35$は, 主に水滴による視程障害の場合に用いる。</u> (略) 12.2.6.5.13 $w_a w_s = 80 \sim 89$は, 観測時に<u>しゅう雨性降水</u>が観測された場合にのみ報ずる。 注: (略) (略) 12.4.7.1.2 5j₁j₂j₃j₄群を使用する場合は, 次の符号を1つ以上報ずる。 (略)</p>

新	旧																																							
<p>FM18 BUOY-ブイ観測通報式</p> <p>通報型式： 第0節 M₁M₁M₁M₁ (略) L₀L₀L₀L₀L₀ (<u>6Q₁Q_tQ_A/</u>) 第1節～第3節 (略) 第4節 (444 (1Q_PQ₂Q_{TW}Q₄) (<u>2Q_NQ_LQ_A/</u>) (略)) 第5節 (555 <u>国内通報式</u>)</p> <p>注： (1)～(4) (略) (5) 通報型式は、次の6つの節に分割されている。第0節は通報義務節であり、<u>6Q₁Q_tQ_A/</u>群以外の群は必ず報ずる。 第1節以降は任意節で、資料を入手できる場合に報ずる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節番号</th> <th>識別数字群</th> <th>通報内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>—</td> <td>識別、時刻及び位置の資料</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>111</td> <td>気象資料、及びその他の海洋以外の資料</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>222</td> <td>海面の資料</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>333</td> <td>選択水深面における水温、塩分及び海流 (資料を入手できる場合)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>444</td> <td>ブイの工学的、技術的パラメータの情報及び品質管理資料</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>555</td> <td><u>国内交換の資料</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>規則： 18.2.1 <u>6Q₁Q_tQ_A/</u>群を除く第0節のすべての群は通報義務群で、他の資料を報じないときでも個々の本文に必ず含めなければならない。 (略) 18.2.5 <u>(6Q₁Q_tQ_A/)群</u> <u>Q₁Q_tQ_A</u>は品質管理指示符である。<u>Q₁</u>及び<u>Q_A</u>は位置に、<u>Q_t</u>は時間に適用する。 (略) 18.6.3 <u>(2Q_NQ_LQ_A/)群</u> <u>Q_N</u>は衛星伝送の品質を示す。<u>Q_L</u>及び<u>Q_A</u>は位置の品質の指示符である。</p>	節番号	識別数字群	通報内容	0	—	識別、時刻及び位置の資料	1	111	気象資料、及びその他の海洋以外の資料	2	222	海面の資料	3	333	選択水深面における水温、塩分及び海流 (資料を入手できる場合)	4	444	ブイの工学的、技術的パラメータの情報及び品質管理資料	5	555	<u>国内交換の資料</u>	<p>FM18 BUOY-ブイ観測通報式</p> <p>通報型式： 第0節 M₁M₁M₁M₁ (略) L₀L₀L₀L₀L₀ (<u>6Q₁Q_t//</u>) 第1節～第3節 (略) 第4節 (444 (1Q_PQ₂Q_{TW}Q₄) (<u>2Q_NQ_L//</u>) (略))</p> <p>注： (1)～(4) (略) (5) 通報型式は、次の5つの節に分割されている。第0節は通報義務節であり、<u>6Q₁Q_t//</u>群以外の群は必ず報ずる。 第1節以降は任意節で、資料を入手できる場合に報ずる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節番号</th> <th>識別数字群</th> <th>通報内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>—</td> <td>識別、時刻及び位置の資料</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>111</td> <td>気象資料、及びその他の海洋以外の資料</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>222</td> <td>海面の資料</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>333</td> <td>選択水深面における水温、塩分及び海流 (資料を入手できる場合)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>444</td> <td>ブイの工学的、技術的パラメータの情報及び品質管理資料</td> </tr> </tbody> </table> <p>規則： 18.2.1 <u>6Q₁Q_t//</u>群を除く第0節のすべての群は通報義務群で、他の資料を報じないときでも個々の本文に必ず含めなければならない。<u>BUOY報は、最小限、第0節の各群で構成される。</u> (略) 18.2.5 <u>(6Q₁Q_t//)群</u> <u>Q₁Q_t</u>は品質管理指示符である。<u>Q₁</u>は位置に、<u>Q_t</u>は時間に適用する。 (略) 18.6.3 <u>(2Q_NQ_L//)群</u> <u>Q_N</u>及び<u>Q_L</u>がともに0の場合、この群は報じない。</p>	節番号	識別数字群	通報内容	0	—	識別、時刻及び位置の資料	1	111	気象資料、及びその他の海洋以外の資料	2	222	海面の資料	3	333	選択水深面における水温、塩分及び海流 (資料を入手できる場合)	4	444	ブイの工学的、技術的パラメータの情報及び品質管理資料
節番号	識別数字群	通報内容																																						
0	—	識別、時刻及び位置の資料																																						
1	111	気象資料、及びその他の海洋以外の資料																																						
2	222	海面の資料																																						
3	333	選択水深面における水温、塩分及び海流 (資料を入手できる場合)																																						
4	444	ブイの工学的、技術的パラメータの情報及び品質管理資料																																						
5	555	<u>国内交換の資料</u>																																						
節番号	識別数字群	通報内容																																						
0	—	識別、時刻及び位置の資料																																						
1	111	気象資料、及びその他の海洋以外の資料																																						
2	222	海面の資料																																						
3	333	選択水深面における水温、塩分及び海流 (資料を入手できる場合)																																						
4	444	ブイの工学的、技術的パラメータの情報及び品質管理資料																																						

新	旧
<p>FM42 AMDAR—航空機自動実況気象通報式 (略) 規則： (略) 42.2.1.2 横揺れが既定の限界を超えたときは常に、<u>飛行状態は不安定とみなす。</u></p> <p>(略) 42.2.1.6 下降中の観測は、飛行状態指示符をDESとして示す。 <u>42.2.1.7</u> <u>飛行状態が不安定な間の観測は、飛行状態指示符をUNSとして示す。</u></p>	<p>FM42 AMDAR—航空機自動実況気象通報式 (略) 規則： (略) 42.2.1.2 横揺れが既定の限界を超えたときは常に、<u>飛行状態は不安定とみなし、ASDAR装置からはいかなる情報も報じない。</u></p> <p>(略) 42.2.1.6 下降中の観測は、飛行状態指示符をDESとして示す。</p>

新

FM65 WAVEOB-波浪スペクトル通報式
通報型式:

第0節 M₁M₁M₁M₁ { $\left. \begin{array}{l} D \dots D \\ \text{又は} \\ A_1 b w n_1 n_1 n_1 n_1 \\ \text{又は} \\ \underline{I_1 I_1 I_1} // \end{array} \right\} **$ (略)

(略)

規則:

(略)

65. 1. 2. 2

海上観測所は、D...D群又はA₁bwn₁n₁n₁n₁群により識別し、位置はQ_cL_aL_aL_aL_aL_aL_aL_aL_aL_a群で示す。衛星はI₁I₁I₁//群で識別し、航空機はこの群を/////と報ずる。定置した海上観測所(定点観測船及び係留ブイを除く)は、運用国が地上の観測所と同種のもののみならず場合、その観測所の識別及び位置はI I i i i群で示す。

注:(略)

旧

FM65 WAVEOB-波浪スペクトル通報式
通報型式:

第0節 M₁M₁M₁M₁ { $\left. \begin{array}{l} D \dots D \\ \text{又は} \\ A_1 b w n_1 n_1 n_1 n_1 \\ \text{又は} \\ \underline{I_1 I_2 I_2} // \end{array} \right\} **$ (略)

(略)

規則:

(略)

65. 1. 2. 2

海上観測所は、D...D群又はA₁bwn₁n₁n₁n₁群により識別し、位置はQ_cL_aL_aL_aL_aL_aL_aL_aL_a群で示す。衛星はI₁I₂I₂//群で識別し、航空機はこの群を/////と報ずる。定置した海上観測所(定点観測船及び係留ブイを除く)は、運用国が地上の観測所と同種のもののみならず場合、その観測所の識別及び位置はI I i i i群で示す。

注:(略)

新	旧
<p>FM71 CLIMAT-地上月気候値気象通報式 通報型式： 第0節 (略) 第1節 111 (略) <u>8m_pm_pm_pm_pm_pm_pm_pm_pm_pm_p</u> 9m_em_em_em_em_em_em_em_em_em_e 第2節～第4節 (略) (略) 規則： (略) 71.3.3 7S₁S₁S₁p_sp_sp_s群 この群は、月間日照時間(1時間単位)、及び平年値に対する割合(1%単位)を報ずる。 注： <u>(1) 平年値に対する百分率が0より大きく1%以下ならば、p_sp_sp_sは001とする。</u> <u>(2) 平年値が0時間ならば、p_sp_sp_sは999とする。</u> <u>(3) 平年値が不明ならば、p_sp_sp_sは///とする。</u></p>	<p>FM71 CLIMAT-地上月気候値気象通報式 通報型式： 第0節 (略) 第1節 111 (略) <u>8m_pm_pm_pm_pm_pm_pm_pm_pm_pm_p</u> 9m_em_em_em_em_em_em_em_em_em_e 第2節～第4節 (略) (略) 規則： (略) 71.3.3 7S₁S₁S₁p_sp_sp_s群 この群は、月間日照時間(1時間単位)、及び平年値に対する割合(1%単位)を報ずる。 注：平年値が0の場合、p_sp_sp_s=///とする。</p>

新	旧
<p>FM86 SATEM-気象衛星高層実況通報式 通報型式： A部 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYGG / <u>I₆I₆I₆I₃I₄</u> <u>F₃F₃F₃F₄F₄F₄</u> (略) B部 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYGG / <u>I₆I₆I₆I₃I₄</u> <u>F₃F₃F₃F₄F₄F₄</u> (略) C部 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYGG / <u>I₆I₆I₆I₃I₄</u> <u>F₃F₃F₃F₄F₄F₄</u> (略) D部 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYGG / <u>I₆I₆I₆I₃I₄</u> <u>F₃F₃F₃F₄F₄F₄</u> (略) (略) 規則： (略) 86.2.1.1 <u>気象衛星は、I₆I₆I₆により識別する。I₆I₆I₆は気象衛星の名称を示し、次の1群にはF₃F₃F₃ (作成中枢) 及びF₄F₄F₄ (作成副中枢) が含まれる。F₄F₄F₄がない場合は、///と報ずる。</u> (略)</p> <p>FM87 SARAD-気象衛星晴天放射量観測通報式 通報型式： 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYGG / <u>I₆I₆I₆I₃I₄</u> <u>F₃F₃F₃F₄F₄F₄</u> (略)</p> <p>FM88 SATOB-気象衛星高層実況放射観測通報式 通報型式： 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYMMJ GGg gw₁ <u>I₆I₆I₆///</u> <u>F₃F₃F₃F₄F₄F₄</u> (略) 規則： (略) 88.2 第1節 第1節は、規則88.9.2を適用する場合を除いて、<u>気象衛星の名称 (規則86.2.1.1を適用) 及び観測時刻を示す。</u></p>	<p>FM86 SATEM-気象衛星高層実況通報式 通報型式： A部 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYGG / <u>I₁I₂I₂I₃I₄</u> (略) B部 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYGG / <u>I₁I₂I₂I₃I₄</u> (略) C部 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYGG / <u>I₁I₂I₂I₃I₄</u> (略) D部 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYGG / <u>I₁I₂I₂I₃I₄</u> (略) (略) 規則： (略) 86.2.1.1 <u>気象衛星の識別は、I₁及びI₂I₂で報ずる。</u> (略)</p> <p>FM87 SARAD-気象衛星晴天放射量観測通報式 通報型式： 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYGG / <u>I₁I₂I₂I₃I₄</u> (略)</p> <p>FM88 SATOB-気象衛星高層実況放射観測通報式 通報型式： 第1節 M₁M₁M₁M₁ YYMMJ GGg gw₁ <u>I₁I₂I₂///</u> (略) 規則： (略) 88.2 第1節 第1節は、規則88.9.2を適用する場合を除いて、<u>気象衛星の名称及び観測時刻を示す。</u></p>

新	旧
第3章 符号の定義 (略)	第3章 符号の定義 (略)
F ₁ F ₂ F ₃ (略)	F ₁ F ₂ F ₃ (略)
<u>F₃F₃F₃</u> 作成中枢の識別 (共通符号表C-1参照) (FM86, FM87, FM88)	
<u>F₄F₄F₄</u> 作成副中枢の識別 (必要に応じ中枢F ₃ F ₃ F ₃ が定義する。中枢は表をWMO事務局に提出する。) (FM86, FM87, FM88)	
FFFF (略)	FFFF (略)
(略)	(略)
(略)	I ₁ 気象衛星を運用する国名又は国際機関名 (FM65, FM86, FM87, FM88) 1761
(略)	(略)
(略)	I ₂ I ₂ 気象衛星の番号 (運用国I ₁ が定める) (FM65, FM86, FM87, FM88) (1) 静止衛星は10位が偶数。 (2) 極軌道衛星は10位が奇数。
(略)	(略)
I ₁ I ₁ I ₁ (略)	I ₁ I ₁ I ₁ (略)
<u>I₆I₆I₆</u> 気象衛星の指示符 (運用国がWMO事務局に提出する) (共通符号表C-5参照) (FM65, FM86, FM87, FM88) (1) 静止衛星は10位が偶数 (2) 極軌道衛星は10位が奇数	
IS (略)	IS (略)
(略)	(略)
m _s (略)	m _s (略)
<u>m_{Tn}</u> 日最低気温の欠測日数 (FM71) (1) 9日以上欠測ならば、m _{Tn} は9とする。	
<u>m_{Tx}</u> 日最高気温の欠測日数 (FM71) (1) 9日以上欠測ならば、m _{Tx} は9とする。	
mm (略)	mm (略)
(略)	(略)
m _{TmT} 気温の欠測日数 (FM71)	m _{TmT} 気温の欠測日数 (FM71)
m _m 蒸気圧の欠測日数 (FM71)	<u>m_{Tx}m_{Tx}</u> 最高/最低気温の欠測日数 (FM71)
(略)	m _m 蒸気圧の欠測日数 (FM71)
Q (略)	(略)
<u>Q_A</u> 位置の品質等級 (FM18) 3302	Q (略)
Q _L (略)	Q _L (略)

新	旧
<p>第4章 符号表 (略) 3300 Q <u>3302 Q_A</u> 3311 Q_L</p> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;"><u>1770</u></p> <p><u>I_xI_xI_x-XBTの測器の種類 (水深換算式の係数を含む)</u> (共通符号表C-3参照)</p> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;">3300</p> <p>Q-地球のオクタント (略)</p> <p style="text-align: center;"><u>3302</u></p> <p><u>Q_A-位置の品質等級 (信頼度66%の範囲)</u></p> <p><u>0 半径≥1500m</u> <u>1 500m≤半径<1500m</u> <u>2 250m≤半径<500m</u> <u>3 半径<250m</u> <u>/ 位置の品質等級の情報が入手できない</u></p> <p style="text-align: center;">3311</p> <p>Q_L-プイの位置情報の品質 (略)</p> <p style="text-align: center;">4680</p> <p>w_aw_a-自動気象観測所の現在天気 00~76 (略) <u>77 霧雪 (snow grains)</u> <u>78 氷晶 (ice crystals)</u> <u>79 保留</u> 80~87 (略) <u>88 保留</u> <u>89 ひょう (hail)</u></p>	<p>第4章 符号表 (略) 3300 Q 3311 Q_L</p> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;"><u>1770</u></p> <p><u>I_xI_xI_x-XBTの機器の種類及び時間-水深換算式の係数</u> (略)</p> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;">3300</p> <p>Q-地球のオクタント (略)</p> <p style="text-align: center;">3311</p> <p>Q_L-プイの位置情報の品質 (略)</p> <p style="text-align: center;">4680</p> <p>w_aw_a-自動気象観測所の現在天気 00~76 (略) <u>77</u> } 保留 <u>79</u> } 80~87 (略) <u>88</u> } 保留 <u>89</u> }</p>

新	旧
<p style="text-align: center;">解説</p> <p>(略)</p> <p>BUFRの資料表現に係る構造上の変更及び追加があった場合は、『BUFRの版番号』(BUFR edition number)が更新される。現在の版番号は3である。</p> <p>BUFR表A, B, C及びDの内容の変更については、これらの表のバージョン番号が更新される。現在の表A, B, C及びDのバージョン番号は<u>6</u>である。</p> <p>新たなBUFRの版番号とBUFR表のバージョン番号は、必要に応じて、それぞれ独立に与えられる。</p>	<p style="text-align: center;">解説</p> <p>(略)</p> <p>BUFRの資料表現に係る構造上の変更及び追加があった場合は、『BUFRの版番号』(BUFR edition number)が更新される。現在の版番号は3である。</p> <p>BUFR表A, B, C及びDの内容の変更については、これらの表のバージョン番号が更新される。現在の表A, B, C及びDのバージョン番号は<u>5</u>である。</p> <p>新たなBUFRの版番号とBUFR表のバージョン番号は、必要に応じて、それぞれ独立に与えられる。</p>

新	旧
<p>FM94 BUFR—二進形式汎用気象通報式 (略)</p> <p>規則： (略)</p> <p>94.5.3.4 クラス04～07に属する2つの同一の要素記述子又は要素記述子の同一の集合が連続して現れる場合は、該当する要素記述子の値には含まれる範囲を表す。これにより層及び単純な期間を定義できる。</p> <p>94.5.3.5 <u>線, 平面 (area), 立体 (volume) 及びより複雑な時間を定義する場合, クラス04～07とクラス08の適切な記述子を組み合わせる。</u></p> <p>94.5.3.6～94.5.3.9 (略)</p> <p>(略)</p> <p>オクテット内容の仕様 (略)</p> <p>第1節 オクテット番号 1～4 (略)</p> <p>5 作成副中枢の識別 (必要に応じて該当する作成中枢が定義する。—共通符号表C-1の注(3)参照)</p> <p>6 作成中枢: <u>符号表0 01 033</u> (共通符号表C-1)</p> <p>(略)</p> <p>11 使用したマスター表のバージョン番号 (現行のWMO FM94 BUFR表は<u>6</u>—注(2)参照)</p> <p>(略)</p>	<p>FM94 BUFR—二進形式汎用気象通報式 (略)</p> <p>規則： (略)</p> <p>94.5.3.4 クラス04～07に属する2つの同一の要素記述子又は要素記述子の同一の集合が連続して現れる場合は、該当する要素記述子の値には含まれる範囲を表す。これにより<u>期間, 領域2次元 (area), 層及び領域3次元 (volume)</u>を定義できる。</p> <p>94.5.3.5～94.5.3.8 (略)</p> <p>(略)</p> <p>オクテット内容の仕様 (略)</p> <p>第1節 オクテット番号 1～4 (略)</p> <p>5 作成副中枢の識別 (必要に応じて該当する作成中枢が定義する。—共通符号表C-1の注(3)参照)</p> <p>6 作成中枢: <u>符号表0 01 031</u> (共通符号表C-1)</p> <p>(略)</p> <p>11 使用したマスター表のバージョン番号 (現行のWMO FM94 BUFR表は<u>5</u>—注(2)参照)</p> <p>(略)</p>

新

クラス01-識別

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 01 004	WMO地区副領域 (注(9)参照)	数値	0	0	3
(略)					
0 01 021	総観規模の擾乱の識別符	数値	0	0	14
0 01 022	現象の名称(Name of feature) (注(11)参照)	CCITT IA5	0	0	224
0 01 025	熱帯擾乱の識別符	CCITT IA5	0	0	24
(略)					
0 01 031	作成中枢の識別 (注(10)参照)	符号表	0	0	16
(略)					

注:

(1) ~ (8) (略)

(9) この要素を通報するためには、0 0 1 0 0 4ではなく記述子0 0 1 0 2 0を使用する。

(10) 作成中枢を通報するためには、0 0 1 0 3 1ではなく記述子0 0 1 0 3 3を使用する。

符号表0 0 1 0 3 4は、0 0 1 0 3 3で示される関連作成中枢で作成し、出版するためWMO事務局に提出される。

(11) 『現象の名称 (name of feature)』を表す文字列は、次のような形式とする。

『現象の種類』 - 『位置又は現象の名称』 (例: 『volcano-Popocatepetl』 (噴火-ポポカテペトル山), 『oil fire-Kuwait』 (油田火災-クウェート))

クラス02-観測機器

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 02 063	航空機の横転角 (aircraft roll angle)	度	2	-18000	16
0 02 064	航空機の横転角の品質	符号表	0	0	2
0 02 065	ACARS地上受信局	CCITT IA5	0	0	40
0 02 070	緯度/経度の元となった位置	符号表	0	0	4
(略)					
0 02 144	ブリュワー測器の光源の種類	符号表	0	0	4
(略)					

注: (略)

旧

クラス01-識別

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 01 004	WMO地区副領域	数値	0	0	3
(略)					
0 01 021	総観規模の擾乱の識別符	数値	0	0	14
0 01 025	熱帯擾乱の識別符	CCITT IA5	0	0	24
(略)					
0 01 031	作成中枢の識別	符号表	0	0	16
(略)					

注:

(1) ~ (8) (略)

クラス02-観測機器

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 02 063	航空機の横転角 (aircraft roll angle)	度	2	-18000	16
0 02 070	緯度/経度の元となった位置	符号表	0	0	4
(略)					
0 02 144	ブリュワー測器の測定方法の種類	符号表	0	0	4
(略)					

注: (略)

新

クラス08-修飾子

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 08 004	航空機の飛行状態	符号表	0	0	3
0 08 005	気象学的な位置の名称	符号表	0	0	4
0 08 007	次元の種類	符号表	0	0	4
0 08 011	現象 (meteorological feature)	符号表	0	0	6
(略)					
0 08 053	起日に対する修飾子	符号表	0	0	2
0 08 060	サンプル走査モード	符号表	0	0	4
0 08 210	航空気象通報式で通報された気象要素	フラグ表	0	0	12
(略)					

注：(略)

クラス10-非座標位置 (鉛直軸)

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 10 063	気圧変化傾向	符号表	0	0	4
0 10 070	航空機の高度	m	0	-400	16

注：(略)

旧

クラス08-修飾子

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 08 004	航空機の飛行状態	符号表	0	0	3
0 08 005	総観規模の擾乱中の位置の名称 (地表)	符号表	0	0	4
0 08 011	水平方向の不連続線	符号表	0	0	6
(略)					
0 08 053	起日に対する修飾子	符号表	0	0	2
0 08 210	航空気象通報式で通報された気象要素	フラグ表	0	0	12
(略)					

注：(略)

クラス10-非座標位置 (鉛直軸)

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 10 063	気圧変化傾向	符号表	0	0	4

注：(略)

新

クラス11－風及び乱気流

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 11 074	消散エネルギー (dissipation energy)	$m^2 s^{-2}$	2	-1024	10
0 11 075	乱気流の平均強度 (渦消散率 (eddy dissipation rate))	$m^2 s^{-1}$	2	0	8
0 11 076	乱気流の最大強度 (渦消散率)	$m^2 s^{-1}$	2	0	8

注：(略)

クラス15－物理／化学的構成成分

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 15 015	正規化前の最大画像スペクトル合成値	数値	0	0	31

クラス20－観測された現象

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 20 009	概略天気指示符 (TAF/METAR)	符号表	0	0	4
(略)					
0 20 063	特殊現象	符号表	0	0	10
0 20 090	特殊な雲	符号表	0	0	4
0 20 210	航空機の運航上重要な現象	符号表	0	0	4
(略)					

* (略)

旧

クラス11－風及び乱気流

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 11 074	散逸エネルギー (dissipation energy)	$m^2 s^{-2}$	2	-1024	10

注：(略)

クラス15－物理／化学的構成成分

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 15 015	正規化前の最大スペクトル合成値	数値	0	0	31

クラス20－観測された現象

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 20 009	概略天気指示符	符号表	0	0	4
(略)					
0 20 063	特殊現象	符号表	0	0	10
0 20 210	航空機の運航上重要な現象	符号表	0	0	4
(略)					

* (略)

新

クラス21-レーダー資料

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 21 075	画像スペクトル強度	数値	0	0	8
(略)					

クラス22-海洋要素

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 22 096	スペクトル帯域幅	s^{-1}	3	0	4
0 22 097	低波数での画像スペクトルの平均波長>731m	m	0	0	14
0 22 098	低波数での波長分散 (波長>731m)	m	0	0	14
0 22 099	低波数での平均方向 (波長>731m)	真方位	0	0	9
0 22 100	低波数での方向分散 (波長>731m)	度	0	0	9
0 22 101	低波数での合計エネルギー (波長>731m)	数値	0	0	31
0 22 120	検潮所自動水位チェック	符号表	0	0	5
(略)					

注:

(1)~(4) (略)

(5) 付加情報:

- 0 22 097 公称入力範囲は0-10000
- 0 22 098 公称入力範囲は0-10000
- 0 22 099 公称入力範囲は0-359
- 0 22 100 公称入力範囲は0-359
- 0 22 101 公称入力範囲は0- 2×10^6 であるが、不確かである。より大きいかも知れない。

旧

クラス21-レーダー資料

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 21 075	スペクトル強度	数値	0	0	8
(略)					

クラス22-海洋要素

表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 22 096	スペクトル帯域幅	s^{-1}	3	0	4
0 22 120	検潮所自動水位チェック	符号表	0	0	5
(略)					

注:

(1)~(4) (略)

新					
クラス25-情報の処理					
表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 25 013	ブライトバンド補正	フラグ表	0	0	2
0 25 014	方位角クラッター・カットオフ (注参照)	数値	0	0	12
0 25 015	レドーム減衰補正	フラグ表	0	0	2
(略)					

注：0 25 014 公称入力範囲は0-2300

* (略)

新					
クラス33-品質情報					
表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 33 024	観測所の標高の品質符号 (移動観測所について)	符号表	0	0	4
0 33 025	ACARS内挿値	符号表	0	0	3
0 33 026	混合比の品質	符号表	0	0	6
0 33 027	位置の品質等級 (信頼度66%の範囲)	符号表	0	0	3

旧					
クラス25-情報の処理					
表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 25 013	ブライトバンド補正	フラグ表	0	0	2
0 25 015	レドーム減衰補正	フラグ表	0	0	2
(略)					

注：記述子0 26 003は、0 08 025 (時間差に対する修飾子) とともに使用する。

* (略)

旧					
クラス33-品質情報					
表参照符	要素名	単位	尺度	参照値	資料幅 ビット
F X Y					
(略)					
0 33 024	観測所の標高の品質符号 (移動観測所について)	符号表	0	0	4

新			旧		
カテゴリ-01-位置及び識別の集約			カテゴリ-01-位置及び識別の集約		
表参照符	表参照符	要素名	表参照符	表参照符	要素名
F X Y			F X Y		
(略)			(略)		
3 01 062	1 01 000	(レーダーの位置) 1 記述子の遅延反復	3 01 062	1 01 000	(レーダーの位置) 1 記述子の遅延反復
	0 31 001	遅延記述子の反復因子		0 31 001	遅延記述子の反復因子
	3 01 001	WMOブロック番号及び地点番号		3 01 001	WMOブロック番号及び地点番号
<u>(ACARS識別)</u>			<u>(ACARS識別)</u>		
3 01 065	0 01 006	航空機のフライトナンバー (注参照)			
	0 01 008	航空機登録番号 (注参照)			
	0 02 001	観測所の種類			
	0 02 002	風観測測器の種類			
	0 02 005	温度の観測精度			
	0 02 062	航空機の資料通報システムの種類			
	0 02 070	緯度/経度の元となった位置			
	0 02 065	ACARS地上受信局			
<u>(ACARS位置)</u>			<u>(ACARS位置)</u>		
3 01 066	3 01 011	年, 月, 日			
	3 01 013	時, 分, 秒			
	3 01 023	緯度及び経度 (低精度)			
	0 07 004	気圧			
	0 02 064	航空機の横転角の品質			
	0 08 004	航空機の飛行状態			

注： この値は、実際の値ではなく、作成副中枢AIRINCから提供された仮の値である。
この仮の値と実際の値との関係はAIRINCのみが把握している。

*~** (略)

*~** (略)

新			旧		
カテゴリー11-単層の通報の集約 (在来型資料)			カテゴリー11-単層の通報の集約 (在来型資料)		
表参照符	表参照符	要素名	表参照符	表参照符	要素名
F X Y			F X Y		
3 11 001	3 01 051	(航空機報告) ASDAR航空機識別符, 航法システム, 日付/時刻, 位置, 飛行状態	3 11 001	3 01 051	(航空機報告) ASDAR航空機識別符, 航法システム, 日付/時刻, 位置, 飛行状態
	0 07 002	高度		0 07 002	高度
	0 12 001	気温		0 12 001	気温
	0 11 001	風向		0 11 001	風向
	0 11 002	風速		0 11 002	風速
	0 11 031	乱気流の程度		0 11 031	乱気流の程度
	0 11 032	乱気流の底の高さ		0 11 032	乱気流の底の高さ
	0 11 033	乱気流の頂の高さ		0 11 033	乱気流の頂の高さ
	0 20 041	機体への着氷		0 20 041	機体への着氷
	3 11 002			(ACARS報)	3 11 001
3 01 065		ACARS識別			
3 01 066		ACARS位置			
3 11 003		ACARS標準通報変数			
3 11 004	ACARS付加通報変数				
3 11 003		(ACARS標準通報変数)			
	0 10 070	航空機高度			
	0 11 001	風向			
	0 11 002	風速			
	0 12 001	気温/乾球温度			
0 13 002	混合比				

新			旧		
3 11 004	1 01 000	(A C A R S付加通報変数)			
	0 31 000	1 記述子の遅延反復			
	0 11 034	遅延記述子の1ビット反復因子			
	0 11 034	鉛直ガストの速度			
	1 01 000	鉛直ガストの加速度			
	0 31 000	1 記述子の遅延反復			
	0 11 035	遅延記述子の1ビット反復因子			
	1 01 000	鉛直ガストの加速度			
	0 31 000	1 記述子の遅延反復			
	0 11 075	遅延記述子の1ビット反復因子			
	1 01 000	乱気流の平均強度(渦消散率)			
	0 31 000	1 記述子の遅延反復			
	0 11 076	遅延記述子の1ビット反復因子			
	1 01 000	乱気流の最大強度(渦消散率)			
	0 31 000	1 記述子の遅延反復			
	0 33 025	遅延記述子の1ビット反復因子			
	1 01 000	A C A R S内挿値			
0 31 000	1 記述子の遅延反復				
0 33 026	遅延記述子の1ビット反復因子				
		混合比の品質			

新		
カテゴリ-1 2-単層の通報の集約 (衛星資料)		
表参照符	表参照符	要素名
F X Y		
(略)		
3 12 023	3 01 047	(A T S R海面水温プロダクト)
	1 03 003	プロダクト冒頭部分
	0 08 022	3記述子を3回反復
	0 12 061	平均値算出に使用した資料数
	0 22 050	表皮水温
	0 21 069	海面水温の標準偏差
	0 21 085	S S Tプロダクトの信頼度
		A T S R海面水温アクロストラックバンド数
		(波スキャタロメーターのプロダクト (拡充))
3 12 024	3 12 020	(波スキャタロメーターのプロダクト)
	0 08 060	サンプル走査モード範囲
	0 08 022	サンプル数
	0 08 060	サンプル走査モード水平
	0 08 022	サンプル数
	0 25 014	方位角クラッター・カットオフ
	0 22 101	合計エネルギー (波長>731m)
	0 22 097	画像スペクトルの平均波長
	0 22 098	波長分散 (波長>731m)
	0 22 099	平均方向 (波長>731m)
	0 22 100	方向分散 (波長>731m)
		(高度)
3 12 041	2 01 141	資料幅を28ビットに変更
	2 02 130	尺度を2に変更
	0 07 001	高度
	2 01 000	資料幅を表Bに復帰
	2 02 000	尺度を表Bに復帰
(略)		

注：(略)

旧		
カテゴリ-1 2-単層の通報の集約 (衛星資料)		
表参照符	表参照符	要素名
F X Y		
(略)		
3 12 023	3 01 047	(A T S R海面水温プロダクト)
	1 03 003	プロダクト冒頭部分
	0 08 022	3記述子を3回反復
	0 12 061	平均値算出に使用した資料数
	0 22 050	表皮水温
	0 21 069	海面水温の標準偏差
	0 21 085	S S Tプロダクトの信頼度
		A T S R海面水温アクロストラックバンド数
		(高度)
3 12 041	2 01 141	資料幅を28ビットに変更
	2 02 130	尺度を2に変更
	0 07 001	高度
	2 01 000	資料幅を表Bに復帰
	2 02 000	尺度を表Bに復帰
(略)		

注：(略)

新			旧		
カテゴリー 1 6 - 総観規模の擾乱の集約			カテゴリー 1 6 - 総観規模の擾乱の集約		
表参照符	表参照符	要素名	表参照符	表参照符	要素名
F X Y			F X Y		
3 16 001	3 01 011 0 04 004 3 01 023 0 01 021 0 02 041 0 19 001 0 10 051 0 19 002 0 19 003 0 19 004	年, 月, 日 時 緯度・経度 (低精度) 総観規模の擾乱の識別符 総観規模の擾乱の解析法 総観規模の擾乱の種類 気圧の海面更正值 擾乱の有効半径 風速のしきい値 (通常, 15 m s^{-1}) しきい値を超える風速域の有効半径	3 16 001	3 01 011 0 04 004 3 01 023 0 01 021 0 02 041 0 19 001 0 10 051 0 19 002 0 19 003 0 19 004	年, 月, 日 時 緯度・経度 (低精度) 総観規模の擾乱の識別符 総観規模の擾乱の解析法 総観規模の擾乱の種類 気圧の海面更正值 擾乱の有効半径 風速のしきい値 (通常, 15 m s^{-1}) しきい値を超える風速域の有効半径
3 16 002	0 08 021 0 04 001 0 04 002 0 04 003 0 04 004 0 04 005 0 01 033 0 08 021 0 04 001 0 04 002 0 04 003 0 04 004 0 04 005 0 07 002 0 07 002	<u>(冒頭)</u> <u>資料の時刻 (解析)</u> 年 月 日 時 分 作成中概 有効時間 (予報) 年 月 日 時 分 フライトレベル (高度) (航空図の層の底) フライトレベル (高度) (航空図の層の頂)			

新		旧	
3 16 003	1 10 000	(ジェット気流) 遅延反復	
	0 31 001	反復	
	0 08 011	現象 (ジェット気流)	
	0 08 007	次元の種類 (線)	
	1 04 000	遅延反復	
	0 31 001	反復	
	0 05 002	緯度 (低精度)	
	0 06 002	経度 (低精度)	
	0 10 002	フライトレベル (高度)	
	0 11 002	風速	
	0 08 007	次元の種類 (キャンセル)	
	0 08 011	現象 (キャンセル)	
	3 16 004		(乱気流)
1 11 000		遅延反復	
0 31 001		反復	
0 08 011		現象 (乱気流)	
0 08 007		次元の種類 (平面)	
0 07 002		フライトレベル (高度) (層の底)	
0 07 002		フライトレベル (高度) (層の頂)	
1 02 000		遅延反復	
0 31 001		反復	
0 05 002		緯度 (低精度)	
0 06 002		経度 (低精度)	
0 11 031		乱気流の程度 (注(1))	
0 08 007		次元の種類 (キャンセル)	
0 08 011	現象 (キャンセル)		
3 16 005		(擾乱)	
	1 08 000	遅延反復	
	0 31 001	反復	
	0 08 005	気象学的な位置の名称 (擾乱の中心)	
	0 08 007	次元の種類 (点)	
	0 05 002	緯度 (低精度)	
	0 06 002	経度 (低精度)	
	0 01 026	WMO熱帯擾乱名 (砂あらしについては『不明』を用いる)	
	0 19 001	総観規模の擾乱 (擾乱の種類)	
	0 08 007	次元の種類 (キャンセル)	
	0 08 005	気象学的な位置の名称 (擾乱の中心) (キャンセル)	

新		旧			
3 16 006	1 12 000	(雲) 遅延反復			
	0 31 001	反復			
	0 08 011	総観規模の擾乱 (雲)			
	0 08 007	次元の種類 (平面)			
	0 07 002	フライトレベル (高度) (層の底)			
	0 07 002	フライトレベル (高度) (層の頂)			
	1 02 000	遅延反復			
	0 31 001	反復			
	0 05 002	緯度 (低精度)			
	0 06 002	経度 (低精度)			
	0 20 011	雲量 (注(2))			
	0 20 012	雲形			
	0 08 007	次元の種類 (キャンセル)			
	0 08 011	現象 (キャンセル)			
3 16 007		(前線)			
	1 10 000	遅延反復			
	0 31 001	反復			
	0 08 011	現象 (前線の種類) (注(3))			
	0 08 007	次元の種類 (線)			
	1 04 000	遅延反復			
	0 31 001	反復			
	0 05 002	緯度 (低精度)			
	0 06 002	経度 (低精度)			
	0 19 005	擾乱の移動方向			
	0 19 006	擾乱の移動の速さ			
	0 08 007	次元の種類 (キャンセル)			
	0 08 011	現象 (キャンセル)			

新		旧	
3 16 008	1 11 000	(圏界面) 遅延反復	
	0 31 001	反復	
	0 08 001	鉛直位置の名称 (第3ビット (圏界面) をセット)	
	0 08 007	次元の種類 (点)	
	0 08 023	統計 (圏界面の種類) (注(4))	
	1 03 000	遅延反復	
	0 31 001	反復	
	0 05 002	緯度 (低精度)	
	0 06 002	経度 (低精度)	
	0 10 002	高度	
	0 08 023	統計 (キャンセル)	
	0 08 007	次元 (キャンセル)	
	0 08 001	鉛直位置の名称 (キャンセル)	
3 16 009	1 11 000	(機体着氷域) 遅延反復	
	0 31 001	反復	
	0 08 011	現象 (機体着氷)	
	0 08 007	次元の種類 (平面)	
	0 07 002	フライトレベル (高度) (層の底)	
	0 07 002	フライトレベル (高度) (層の頂)	
	1 02 000	遅延反復	
	0 31 001	反復	
	0 05 002	緯度 (低精度)	
	0 06 002	経度 (低精度)	
	0 20 041	機体着氷 (機体着氷の種類)	
	0 08 007	次元の種類 (キャンセル)	
	0 08 011	現象 (キャンセル)	
3 16 010	1 07 000	(現象の名称) 遅延反復	
	0 31 001	反復	
	0 08 011	現象	
	0 08 007	次元の種類 (点)	
	0 01 022	現象の名称	
	0 05 002	緯度 (低精度)	
	0 06 002	経度 (低精度)	
	0 08 007	次元の種類 (キャンセル)	
	0 08 011	現象 (キャンセル)	

新		旧	
3 16 011	1 17 000	(火山噴火)	
	0 31 001	遅延反復	
	0 08 011	反復	
	0 01 022	現象 (特殊な雲)	
	0 08 007	現象の名称 (火山の名称)	
	1 02 000	次元の種類 (点)	
	0 31 001	遅延反復	
	0 05 002	反復	
	0 06 002	緯度 (低精度)	
	0 08 021	経度 (低精度)	
	0 04 001	時間の特定 (噴火の開始時刻)	
	0 04 002	年	
	0 04 003	月	
	0 04 004	日	
	0 04 005	時	
	0 20 090	分	
	0 08 021	特殊な雲 (火山噴火による雲)	
	0 08 007	時間の特定 (キャンセル)	
	0 08 011	次元の種類 (キャンセル)	
		現象 (キャンセル)	

注:

- (1) MOD OCNL SEVIは12 (非常に強い) とする。
- (2) 雲形がCbの場合、
 - FRQ = 数字符号8 (8/8)
 - OCNL EMBD = 数字符号6 (6/8)
 - ISOL = 数字符号2 (2/8)
- (3) 前線の方向 (前線が移動する方向) は、表示に必要なので常に与えなければならない。前線の移動の速さが0ならば、前線の方向に前線がゆっくり移動することを示す。符号表には、停滞前線がある。
- (4) 続く圏界面のレベルが最小、最大又は特定の位置の値であるかは、統計的に決定する。

新	旧																										
<u>0 01 007</u> 衛星識別符 (共通符号表C-5参照)	<u>0 01 007</u> 衛星識別符																										
<u>0 02 062</u> 航空機資料通報システムの種類 (略)	<u>0 02 062</u> 航空機資料通報システムの種類 (略)																										
<u>0 02 064</u> 航空機の横転角の品質																											
数字符号 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;"><u>0</u></td> <td style="text-align: center;">良</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>1</u></td> <td style="text-align: center;">不良</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>2</u></td> <td style="text-align: center;">保留</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>3</u></td> <td style="text-align: center;">欠測</td> </tr> </table>	<u>0</u>	良	<u>1</u>	不良	<u>2</u>	保留	<u>3</u>	欠測																			
<u>0</u>	良																										
<u>1</u>	不良																										
<u>2</u>	保留																										
<u>3</u>	欠測																										
注：現在、鉛直からの横転角が5度を超える場合を不良としている。																											
<u>0 02 070</u> 緯度/経度の元となった位置 (略)	<u>0 02 070</u> 緯度/経度の元となった位置 (略)																										
	数字符号 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;"><u>0</u></td> <td style="text-align: center;">保留</td> <td rowspan="6" style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">に割り当てる</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>1~99</u></td> <td style="text-align: center;">欧州共同体</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>100~199</u></td> <td style="text-align: center;">日本</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>200~299</u></td> <td style="text-align: center;">アメリカ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>300~399</u></td> <td style="text-align: center;">ロシア</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>400~499</u></td> <td style="text-align: center;">インド</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>500~1022</u></td> <td style="text-align: center;">保留</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>1023</u></td> <td style="text-align: center;">欠測</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">注：(略)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<u>0</u>	保留	}	に割り当てる	<u>1~99</u>	欧州共同体	<u>100~199</u>	日本	<u>200~299</u>	アメリカ	<u>300~399</u>	ロシア	<u>400~499</u>	インド	<u>500~1022</u>	保留			<u>1023</u>	欠測			注：(略)			
<u>0</u>	保留	}	に割り当てる																								
<u>1~99</u>	欧州共同体																										
<u>100~199</u>	日本																										
<u>200~299</u>	アメリカ																										
<u>300~399</u>	ロシア																										
<u>400~499</u>	インド																										
<u>500~1022</u>	保留																										
<u>1023</u>	欠測																										
注：(略)																											

新		旧	
<p>0 0 8 0 0 5 <u>気象学的な位置の名称</u> (略)</p>		<p>0 0 8 0 0 5 <u>総観規模の擾乱中の位置の名称 (地表)</u> (略)</p>	
<p>0 0 8 0 0 7 <u>次元の種類</u></p>			
数字符号			
<u>0</u>	点		
<u>1</u>	線		
<u>2</u>	平面 (Area)		
<u>3</u>	立体 (Volume)		
<u>4~14</u>	保留		
<u>15</u>	欠測		
<p>注：線又は多角形を定義するには、2つ以上の位置座標（例えば緯度及び経度の組み合わせ）を連続的に配列する。それぞれの点は、BUFR報中に配列された順序でつなげる。平面は、BUFR報中に与えられた順番で点を結んだ境界線の左側にある。 この定義は、穴がなく、交差しない、単純な多角形を定義するためのものである。</p>			
<p>0 0 8 0 1 1 <u>現象 (Meteorological feature)</u></p>		<p>0 0 8 0 1 1 <u>水平方向の不連続線</u></p>	
数字符号		数字符号	
0~9	(略)	0~9	(略)
<u>10</u>	ジェット気流	<u>10~62</u>	保留
<u>11</u>	晴天 (Cloud clear)		
<u>12</u>	雲		
<u>13</u>	乱気流		
<u>14</u>	擾乱 (Storm)		
<u>15</u>	機体着氷		
<u>16</u>	現象 (Phenomenon)		
<u>17</u>	火山		
<u>18~19</u>	保留		
<u>20</u>	特殊な雲		
<u>21~62</u>	保留		
63	欠測	63	欠測

新		旧	
	0 0 8 0 2 1 時間の特定		0 0 8 0 2 1 時間の特定
数字符号 0～1 6 <u>1 7</u> 1 8～3 1	(略) <u>現象の開始</u> (略)	数字符号 0～1 6 <u>1 7</u> 1 8～3 1	(略) <u>保留</u> (略)
	0 0 8 0 5 3 起日に対する修飾子 (略)		0 0 8 0 5 3 起日に対する修飾子 (略)
	<u>0 0 8 0 6 0</u> <u>サンプル走査モード</u>		
数字符号 <u>0</u> <u>1</u> <u>2</u> <u>3</u> <u>4</u> 5～1 4 <u>1 5</u>	<u>保留</u> <u>範囲</u> <u>方位角</u> <u>水平</u> <u>鉛直</u> <u>保留</u> <u>欠測</u>		
	0 0 8 2 1 0 航空気象通報式で通報された気象要素 (略)		0 0 8 2 1 0 航空気象通報式で通報された気象要素 (略)

新		旧	
0 19 001 総観規模の擾乱の種類		0 19 001 総観規模の擾乱の種類	
数字符号		数字符号	
0~4	(略)	0~4	(略)
<u>5~9</u>	保留	<u>5~6 2</u>	保留
<u>10</u>	砂じんあらし		
<u>11~6 2</u>	保留		
6 3	欠測	6 3	欠測
(略)		(略)	
0 20 063 特殊現象 (略)		0 20 063 特殊現象 (略)	
<u>0 20 090</u> 特殊な雲			
数字符号			
<u>0</u>	保留		
<u>1</u>	真珠母雲		
<u>2</u>	夜光雲		
<u>3</u>	滝によりできる積雲		
<u>4</u>	火事による雲		
<u>5</u>	火山噴火による雲		
<u>6~1 4</u>	保留		
<u>15</u>	欠測		
0 20 210 航空機の運航上重要な現象 (略)		0 20 210 航空機の運航上重要な現象 (略)	

新

022067
水温プロファイル観測機器の種類

(共通符号表C-3参照)

旧

022067
水温プロファイル観測機器の種類

数字符号	機器の種類	係数 a	係数 b
<u>001</u>	<u>Sippican T-4</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>002</u>	<u>Sippican T-4</u>	<u>6.692</u>	<u>-2.25</u>
<u>011</u>	<u>Sippican T-5</u>	<u>6.828</u>	<u>-1.82</u>
<u>021</u>	<u>Sippican Fast Deep</u>	<u>6.346</u>	<u>-1.82</u>
<u>031</u>	<u>Sippican T-6</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>032</u>	<u>Sippican T-6</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>041</u>	<u>Sippican T-7</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>042</u>	<u>Sippican T-7</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>051</u>	<u>Sippican Deep Blue</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>052</u>	<u>Sippican Deep Blue</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>061</u>	<u>Sippican T-10</u>	<u>6.301</u>	<u>-2.16</u>
<u>071</u>	<u>Sippican T-11</u>	<u>1.779</u>	<u>-0.255</u>
<u>201</u>	<u>TSK T-4</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>202</u>	<u>TSK T-4</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>211</u>	<u>TSK T-6</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>212</u>	<u>TSK T-6</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>221</u>	<u>TSK T-7</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>222</u>	<u>TSK T-7</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>231</u>	<u>TSK T-5</u>	<u>6.828</u>	<u>-1.82</u>
<u>241</u>	<u>TSK T-10</u>	<u>6.301</u>	<u>-2.16</u>
<u>401</u>	<u>Sparton XBT-1</u>	<u>6.301</u>	<u>-2.16</u>
<u>411</u>	<u>Sparton XBT-3</u>	<u>5.861</u>	<u>-0.0904</u>
<u>421</u>	<u>Sparton XBT-4</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>431</u>	<u>Sparton XBT-5</u>	<u>6.828</u>	<u>-1.82</u>
<u>441</u>	<u>Sparton XBT-5DB</u>	<u>6.828</u>	<u>-1.82</u>
<u>451</u>	<u>Sparton XBT-6</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>461</u>	<u>Sparton XBT-7</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>462</u>	<u>Sparton XBT-7</u>	<u>6.705</u>	<u>-2.28</u>
<u>471</u>	<u>Sparton XBT-7DB</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>481</u>	<u>Sparton XBT-10</u>	<u>6.301</u>	<u>-2.16</u>
<u>491</u>	<u>Sparton XBT-20</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>501</u>	<u>Sparton XBT-20DB</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>700</u>	<u>Sippican XCTD standard</u>		
<u>710</u>	<u>Sippican XCTD deep</u>		
<u>720</u>	<u>Sippican AXCTD</u>		

新	旧																																										
<p>0 2 2 0 6 8 水温プロファイル記録器の種類 (共通符号表C-4参照)</p>	<p>7 3 0 <u>Sippican SXCTD</u> 8 0 0 <u>メカニカル BT</u> 8 2 1 <u>Hydrocast</u> 8 2 0 <u>サーミスタチェイン (Thermistor Chain)</u> 8 3 0 <u>CTD</u> 1 0 2 3 <u>欠測</u></p> <p>注： (1) 水深 z は、係数 a、b 及び時間 t を用いて次式により求める。 $z = a t + 10^{-3} b t^2$ (2) 未定義の数字符号は、すべて保留とする。 (3) a 及び b の値は、単なる (参考) 情報である。</p> <p style="text-align: center;">0 2 2 0 6 8 水温プロファイル記録器の種類</p> <p style="text-align: center;">数字符号</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;"><u>1</u></td><td><u>Sippican Strip Chart Recorder</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>2</u></td><td><u>Sippican MK2A/SSQ-61</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>3</u></td><td><u>Sippican MK-9</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>4</u></td><td><u>Sippican AN/BHQ-7/MK8</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>5</u></td><td><u>Sippican MK-12</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>1 0</u></td><td><u>Sparton SOC BT/SV Processor Model 100</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>2 0</u></td><td><u>ARGOS XBT-ST</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>2 1</u></td><td><u>CLS-ARGOS/Protecno XBT-ST Model-1</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>2 2</u></td><td><u>CLS-ARGOS/Protecno XBT-ST Model-2</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>3 0</u></td><td><u>BATHY Systems SA-810</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>3 1</u></td><td><u>Scripps Metrobyte Controller</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>3 2</u></td><td><u>Murayama Denki Z-60-16 III</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>3 3</u></td><td><u>Murayama Denki Z-60-16 II</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>3 4</u></td><td><u>Protecno ETSM2</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>3 5</u></td><td><u>Nautilus Marine Service NMS-XBT</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>4 0</u></td><td><u>TSK MK-2A</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>4 1</u></td><td><u>TSK MK-2S</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>4 2</u></td><td><u>TSK MK-30</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>4 3</u></td><td><u>TSK MK-30N</u></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>9 9</u></td><td>不明</td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><u>1 2 7</u></td><td>欠測</td></tr> </table> <p>注：未定義の数字符号は、すべて保留とする。</p>	<u>1</u>	<u>Sippican Strip Chart Recorder</u>	<u>2</u>	<u>Sippican MK2A/SSQ-61</u>	<u>3</u>	<u>Sippican MK-9</u>	<u>4</u>	<u>Sippican AN/BHQ-7/MK8</u>	<u>5</u>	<u>Sippican MK-12</u>	<u>1 0</u>	<u>Sparton SOC BT/SV Processor Model 100</u>	<u>2 0</u>	<u>ARGOS XBT-ST</u>	<u>2 1</u>	<u>CLS-ARGOS/Protecno XBT-ST Model-1</u>	<u>2 2</u>	<u>CLS-ARGOS/Protecno XBT-ST Model-2</u>	<u>3 0</u>	<u>BATHY Systems SA-810</u>	<u>3 1</u>	<u>Scripps Metrobyte Controller</u>	<u>3 2</u>	<u>Murayama Denki Z-60-16 III</u>	<u>3 3</u>	<u>Murayama Denki Z-60-16 II</u>	<u>3 4</u>	<u>Protecno ETSM2</u>	<u>3 5</u>	<u>Nautilus Marine Service NMS-XBT</u>	<u>4 0</u>	<u>TSK MK-2A</u>	<u>4 1</u>	<u>TSK MK-2S</u>	<u>4 2</u>	<u>TSK MK-30</u>	<u>4 3</u>	<u>TSK MK-30N</u>	<u>9 9</u>	不明	<u>1 2 7</u>	欠測
<u>1</u>	<u>Sippican Strip Chart Recorder</u>																																										
<u>2</u>	<u>Sippican MK2A/SSQ-61</u>																																										
<u>3</u>	<u>Sippican MK-9</u>																																										
<u>4</u>	<u>Sippican AN/BHQ-7/MK8</u>																																										
<u>5</u>	<u>Sippican MK-12</u>																																										
<u>1 0</u>	<u>Sparton SOC BT/SV Processor Model 100</u>																																										
<u>2 0</u>	<u>ARGOS XBT-ST</u>																																										
<u>2 1</u>	<u>CLS-ARGOS/Protecno XBT-ST Model-1</u>																																										
<u>2 2</u>	<u>CLS-ARGOS/Protecno XBT-ST Model-2</u>																																										
<u>3 0</u>	<u>BATHY Systems SA-810</u>																																										
<u>3 1</u>	<u>Scripps Metrobyte Controller</u>																																										
<u>3 2</u>	<u>Murayama Denki Z-60-16 III</u>																																										
<u>3 3</u>	<u>Murayama Denki Z-60-16 II</u>																																										
<u>3 4</u>	<u>Protecno ETSM2</u>																																										
<u>3 5</u>	<u>Nautilus Marine Service NMS-XBT</u>																																										
<u>4 0</u>	<u>TSK MK-2A</u>																																										
<u>4 1</u>	<u>TSK MK-2S</u>																																										
<u>4 2</u>	<u>TSK MK-30</u>																																										
<u>4 3</u>	<u>TSK MK-30N</u>																																										
<u>9 9</u>	不明																																										
<u>1 2 7</u>	欠測																																										

新		旧	
<p>0 3 3 0 2 4 観測所の標高の品質符号（移動観測所について） （略）</p>		<p>0 3 3 0 2 4 観測所の標高の品質符号（移動観測所について） （略）</p>	
<p><u>0 3 3 0 2 5</u> <u>ACARS内挿値</u></p>			
<p>数字符号</p> <p><u>0</u></p> <p><u>1</u></p> <p><u>2</u></p> <p><u>3</u></p> <p><u>4~6</u></p> <p><u>7</u></p>	<p><u>緯度及び経度が報じられ、時間を内挿した時刻が報じられ、緯度及び経度を内挿した時刻、緯度及び経度を内挿した時刻、緯度及び経度が報じられた</u></p> <p><u>保留</u></p> <p><u>欠測</u></p>		
<p><u>0 3 3 0 2 6</u> <u>混合比の品質</u></p>			
<p>数字符号</p> <p><u>0</u></p> <p><u>1</u></p> <p><u>2</u></p> <p><u>3</u></p> <p><u>4</u></p> <p><u>5</u></p> <p><u>6</u></p> <p><u>7</u></p> <p><u>8</u></p> <p><u>9~6 2</u></p> <p><u>6 3</u></p>	<p><u>正常な運行－測定モード</u></p> <p><u>正常な運行－非測定モード</u></p> <p><u>小RH (Small RH)</u></p> <p><u>湿度の要素は湿潤 (wet)</u></p> <p><u>湿度の要素は被汚染 (contaminated)</u></p> <p><u>ヒーター故障</u></p> <p><u>ヒーター故障及び湿潤／被汚染湿度要素 (wet/contaminated humidity element)</u></p> <p><u>単一有効性不良 (Single validity bad)</u></p> <p><u>数値エラー</u></p> <p><u>保留</u></p> <p><u>欠測</u></p>		
<p><u>0 3 3 0 2 7</u> <u>位置の品質等級</u></p>			
<p>数字符号</p> <p><u>0</u></p> <p><u>1</u></p> <p><u>2</u></p> <p><u>3</u></p> <p><u>4~6</u></p> <p><u>7</u></p>	<p><u>半径\geq1500m</u></p> <p><u>500m\leq半径$<$1500m</u></p> <p><u>250m\leq半径$<$500m</u></p> <p><u>半径$<$250m</u></p> <p><u>保留</u></p> <p><u>欠測</u></p>		

新				旧			
共通符号表 C-1 : 作成中枢の識別				共通符号表 C-1 : 作成中枢の識別			
共通符号表		F ₁ F ₂ 文字形式通報式 F ₃ F ₃ F ₃ 文字形式通報式 第0表 GRIB 符号表0 01 033 BUFR		共通符号表		F ₁ F ₂ 文字形式通報式 第0表 GRIB 符号表0 01 031 BUFR	
数字符号	数字符号	GRIB第1節第5オクテット	作成中枢	数字符号	GRIB第1節	BUFR第1節	作成中枢
F ₁ F ₂	F ₃ F ₃ F ₃	BUFR第1節第6オクテット		F ₁ F ₂	第5オクテット	第6オクテット	
		(符号表第0表)			(符号表第0表)	(符号表0 01 031)	
00	<u>000</u>	0	WMO事務局	00	<u>0</u>	0	保留
			01~09:WMC				01~09:WMC
01	<u>001</u>	1	メルボルン	01	<u>1</u>	1	メルボルン
02	<u>002</u>	2	メルボルン	02	<u>2</u>	2	メルボルン
03	<u>003</u>	3)	03	<u>3</u>	3)
04	<u>004</u>	4	モスクワ	04	<u>4</u>	4	モスクワ
05	<u>005</u>	5	モスクワ	05	<u>5</u>	5	モスクワ
06	<u>006</u>	6)	06	<u>6</u>	6)
07	<u>007</u>	7	US国家気象局	07	<u>7</u>	7	US国家気象局
			国家環境予測センター (NCEP)				-国家気象センター (NMC)
08	<u>008</u>	8	US国家気象局	08	<u>8</u>	8	US国家気象局
			通信ゲイトウェイ (NWSTG)				通信ゲイトウェイ (NWSTG)
09	<u>009</u>	9	アメリカ合衆国のために保留	09	<u>9</u>	9	アメリカ合衆国のために保留
			10~25:第I地区の中枢				10~25:第I地区の中枢
10	<u>010</u>	10	カイロ (RSMC/RAFC)	10	<u>10</u>	10	カイロ (RSMC/RAFC)
11	<u>011</u>	11)	11	<u>11</u>	11)
12	<u>012</u>	12	ダカール (RSMC/RAFC)	12	<u>12</u>	12	ダカール (RSMC/RAFC)
13	<u>013</u>	13)	13	<u>13</u>	13)
14	<u>014</u>	14	ナイロビ (RSMC/RAFC)	14	<u>14</u>	14	ナイロビ (RSMC/RAFC)
15	<u>015</u>	15)	15	<u>15</u>	15)
16	<u>016</u>	16	保留	16	<u>16</u>	16	アンタナナリボ (RSMC)
17	<u>017</u>	17	保留	17	<u>17</u>	17)
18	<u>018</u>	18	チュニス-カサブランカ (RSMC)	18	<u>18</u>	18	チュニス-カサブランカ (RSMC)
19	<u>019</u>	19)	19	<u>19</u>	19)
20	<u>020</u>	20	ラス・パルマス (RAFC)	20	<u>20</u>	20	ラス・パルマス (RAFC)
21	<u>021</u>	21	アルジェ (RSMC)	21	<u>21</u>	21	アルジェ (RSMC)
22	<u>022</u>	22	保留	22	<u>22</u>	22	ラゴス (RSMC)

新				旧			
<u>23</u>	<u>023</u>	<u>23</u>	保留	<u>23</u>	<u>23</u>	<u>23</u>)
<u>24</u>	<u>024</u>	<u>24</u>	プレトリア (RSMC)	<u>24-25</u>	<u>24-25</u>	<u>24-25</u>	第I地区の他の中枢のために保留
<u>25</u>	<u>025</u>	<u>25</u>	レユニオン (RSMC)				
			26~40 第II地区の中枢				26~40 第II地区の中枢
26	<u>026</u>	26	ハバロフスク (RSMC)	26	<u>26</u>	26	ハバロフスク (RSMC)
27	<u>027</u>	27)	27	<u>27</u>	27)
28	<u>028</u>	28	ニューデリー (RSMC/RAFC)	28	<u>28</u>	28	ニューデリー (RSMC/RAFC)
29	<u>029</u>	29)	29	<u>29</u>	29)
30	<u>030</u>	30	ノボシビルスク (RSMC)	30	<u>30</u>	30	ノボシビルスク (RSMC)
31	<u>031</u>	31)	31	<u>31</u>	31)
32	<u>032</u>	32	タシケント (RSMC)	32	<u>32</u>	32	タシケント (RSMC)
33	<u>033</u>	33	ジッダ (RSMC)	33	<u>33</u>	33	ジッダ (RSMC)
34	<u>034</u>	34	東京 (RSMC), 気象庁	34	<u>34</u>	34	東京 (RSMC), 気象庁
35	<u>035</u>	35)	35	<u>35</u>	35)
36	<u>036</u>	36	バンコク	36	<u>36</u>	36	バンコク
37	<u>037</u>	37	ウランバートル	37	<u>37</u>	37	ウランバートル
38	<u>038</u>	38	北京 (RSMC)	38	<u>38</u>	38	北京 (RSMC)
39	<u>039</u>	39)	39	<u>39</u>	39)
40	<u>040</u>	40	ソウル	40	<u>40</u>	40	ソウル
			41~50 : 第III地区の中枢				41~50 : 第III地区の中枢
41	<u>041</u>	41	ブエノスアイレス (RSMC/RAFC)	41	<u>41</u>	41	ブエノスアイレス (RSMC/RAFC)
42	<u>042</u>	42)	42	<u>42</u>	42)
43	<u>043</u>	43	ブラジリア (RSMC/RAFC)	43	<u>43</u>	43	ブラジリア (RSMC/RAFC)
44	<u>044</u>	44)	44	<u>44</u>	44)
45	<u>045</u>	45	サンティアゴ	45	<u>45</u>	45	サンティアゴ
46	<u>046</u>	46	ブラジル宇宙機関-INPE	46	<u>46</u>	46	ブラジル宇宙機関-INPE
47-50	<u>047-050</u>	47-50	第III地区の他の中枢のために保留	47-50	<u>47-50</u>	47-50	第III地区の他の中枢のために保留
			51~63 : 第IV地区の中枢				51~63 : 第IV地区の中枢
51	<u>051</u>	51	マイアミ (RSMC)	51	<u>51</u>	51	マイアミ (RSMC/RAFC)
52	<u>052</u>	52	マイアミ (RSMC), 国家ハリケーンセンター	52	<u>52</u>	52	マイアミ (RSMC), 国家ハリケーンセンター
53	<u>053</u>	53	モントリオール (RSMC)	53	<u>53</u>	53	モントリオール (RSMC)
54	<u>054</u>	54)	54	<u>54</u>	54)
55	<u>055</u>	55	サンフランシスコ	55	<u>55</u>	55	サンフランシスコ
56	<u>056</u>	56	保留	56	<u>56</u>	56	保留
57	<u>057</u>	57	US空軍-空軍全球気象センター	57	<u>57</u>	57	US空軍-空軍全球気象センター
58	<u>058</u>	58	海軍数値気象海洋センター, モンテレー (カルフォルニア)	58	<u>58</u>	58	海軍数値気象海洋センター, モンテレー (カルフォルニア)

新				旧			
59	<u>059</u>	59	NOAA予報システム研究所, ボルダー (コロラド)	59	<u>59</u>	59	NOAA予報システム研究所, ボルダー (コロラド)
60	<u>060</u>	60	US国立大気研究センター (NCAR)	60	<u>60</u>	60	アメリカ合衆国 国立大気研究センター (NCAR)
61-63	<u>061-063</u>	61-63	第IV地区の他の中枢のために保留	61-63	<u>61-63</u>	61-63	第IV地区の他の中枢のために保留
64~73 : 第V地区の中枢				64~73 : 第V地区の中枢			
64	<u>064</u>	64	ホノルル	64	<u>64</u>	64	ホノルル
65	<u>065</u>	65	ダーウィン (RSMC)	65	<u>65</u>	65	ダーウィン (RSMC)
66	<u>066</u>	66)	66	<u>66</u>	66)
67	<u>067</u>	67	メルボルン (RSMC)	67	<u>67</u>	67	メルボルン (RSMC)
68	<u>068</u>	68	保留	68	<u>68</u>	68	保留
69	<u>069</u>	69	ウェリントン (RSMC/RAFC)	69	<u>69</u>	69	ウェリントン (RSMC/RAFC)
70	<u>070</u>	70)	70	<u>70</u>	70)
71	<u>071</u>	71	ナディ (RSMC)				
72-73	<u>072-073</u>	72-73	第V地区の他の中枢のために保留	71-73	<u>71-73</u>	71-73	第V地区の他の中枢のために保留
74~99 : 第VI地区の中枢				74~99 : 第VI地区の中枢			
74	<u>074</u>	74	イギリス気象局-ブラックネル (RSMC)	74	<u>74</u>	74	イギリス気象局-ブラックネル
75	<u>075</u>	75)	75	<u>75</u>	75)
76	<u>076</u>	76	モスクワ (RSMC/RAFC)	76	<u>76</u>	76	モスクワ (RSMC/RAFC)
77	<u>077</u>	77	保留	77	<u>77</u>	77	保留
78	<u>078</u>	78	オッフエンバッハ (RSMC)	78	<u>78</u>	78	オッフエンバッハ (RSMC)
79	<u>079</u>	79)	79	<u>79</u>	79)
80	<u>080</u>	80	ローマ (RSMC)	80	<u>80</u>	80	ローマ (RSMC)
81	<u>081</u>	81)	81	<u>81</u>	81)
82	<u>082</u>	82	ノルチェピング	82	<u>82</u>	82	ノルチェピング
83	<u>083</u>	83)	83	<u>83</u>	83)
84	<u>084</u>	84	保留	84	<u>84</u>	84	保留
85	<u>085</u>	85	トゥールーズ (RSMC)	85	<u>85</u>	85	トゥールーズ
86	<u>086</u>	86	ヘルシンキ	86	<u>86</u>	86	ヘルシンキ
87	<u>087</u>	87	ベオグラード	87	<u>87</u>	87	ベオグラード
88	<u>088</u>	88	オスロ	88	<u>88</u>	88	オスロ
89	<u>089</u>	89	ブラハ	89	<u>89</u>	89	ブラハ
90	<u>090</u>	90	エブスコピ	90	<u>90</u>	90	エブスコピ
91	<u>091</u>	91	アンカラ	91	<u>91</u>	91	アンカラ
92	<u>092</u>	92	フランクフルト/マイン (RAFC)	92	<u>92</u>	92	フランクフルト/マイン (RAFC)
93	<u>093</u>	93	ロンドン (WAFC)	93	<u>93</u>	93	ロンドン (WAFC)
94	<u>094</u>	94	コペンハーゲン	94	<u>94</u>	94	コペンハーゲン
95	<u>095</u>	95	ロタ	95	<u>95</u>	95	ロタ

新				旧			
96	<u>096</u>	96	アテネ	96	<u>96</u>	96	アテネ
97	<u>097</u>	97	ヨーロッパ宇宙機関 (ESA)	97	<u>97</u>	97	ヨーロッパ宇宙機関 (ESA)
98	<u>098</u>	98	ヨーロッパ中期予報センター (ECMWF) (RSMC)	98	<u>98</u>	98	ヨーロッパ中期予報センター (ECMWF) (RSMC)
99	<u>099</u>	99	デ・ビルト	99	<u>99</u>	99	デ・ビルト
n.a.	<u>100~109</u>	<u>100~109</u>	第I地区の上記一覧にない中枢のために保留	n.a.	<u>100~N₁N₁N₁</u>		第I地区の上記一覧にない中枢のために保留
n.a.	<u>110</u>	<u>110</u>	香港				
n.a.	<u>111~139</u>	<u>111~139</u>	第II地区の上記一覧にない中枢のために保留	n.a.	<u>N₁N₁N₁+1~N₂N₂N₂</u>		第II地区の上記一覧にない中枢のために保留
n.a.	<u>140~159</u>	<u>140~159</u>	第III地区の上記一覧にない中枢のために保留	n.a.	<u>***</u>	<u>***</u>	<u>***</u>
n.a.	<u>160</u>	<u>160</u>	US NOAA/NESDIS				
n.a.	<u>161~199</u>	<u>161~199</u>	第IV地区の上記一覧にない中枢のために保留				
n.a.	<u>200~209</u>	<u>200~209</u>	第V地区の上記一覧にない中枢のために保留	n.a.	<u>N_sN_sN_s+1~254</u>		第V地区の上記一覧にない中枢のために保留
n.a.	<u>210</u>	<u>210</u>	フラスカティ (ESA/ESRIN)				
n.a.	<u>211</u>	<u>211</u>	ラニオン				
n.a.	<u>212~253</u>	<u>212~253</u>	第VI地区の上記一覧にない中枢のために保留				
n.a.	<u>254</u>	<u>254</u>	EUMETSAT運用センター				
n.a.	<u>255</u>	<u>255</u>	欠測	n.a.	<u>255</u>	<u>255</u>	使用しない。
n.a.	<u>250~999</u>	n.a.	使用しない				

注：

- 閉じかっこ『』は、該当する数字符号が直前に挙げられている中枢のために保留されていることを示す。
- 『n.a.』は利用できないことを意味する。
- GRIB又はBUFRでは、作成中枢が副中枢であるか否かを示すため、GRIB第1節第26オクテット又はBUFR第1節第5オクテットを次のように用いる。
0 副中枢ではない。GRIB第1節第5オクテット又はBUFR第1節第6オクテットで定義した中枢である。
1~254 GRIB第1節第5オクテット又はBUFR第1節第6オクテットで定義した中枢が割り当てた副中枢の識別符。各中枢は、副中枢の識別符をWMO事務局に提出する。

注：

- 閉じかっこ『』は、該当する数字符号が直前に挙げられている中枢のために保留されていることを示す。
- 『n.a.』は利用できないことを意味する。
- GRIB又はBUFRで、副中枢を定義する必要があるならば、以下の手順を適用すべきである。
GRIB第1節第26オクテット、又はBUFR第1節第5オクテットで、次のような意義で使用する。GRIB第1節第26オクテット、又はBUFR第1節第5オクテットの数字符号は、次のとおりである。
0 GRIB第1節第5オクテット、又はBUFR第1節第6オクテットで定義された中枢
1~254 GRIB第1節第5オクテット、又はBUFR第1節第6オクテットで定義された中枢が割り当てた副中枢の識別符

新

旧

共通符号表C-2：ラジオゾンデ／観測システム

共通符号表 { 符号表3685-r,r. (ラジオゾンデ／観測システム) -文字形式通報式
 符号表0 02 011-ラジオゾンデの種類-BUFR

数字符号	BUFRの数字符号	
r,r.		
(符号表3685)	(符号表0 02 011)	
	(略)	
<u>5 1</u>	<u>5 1</u>	<u>VIZ-B2 (アメリカ)</u>
<u>5 2</u>	<u>5 2</u>	<u>Vaisala RS80-57H</u>
<u>5 3-5 9</u>	<u>5 3-5 9</u>	<u>ラジオゾンデの割り当てのために保留</u>
	(略)	

共通符号表C-2：ラジオゾンデ／観測システム

共通符号表 { 符号表3685-r,r. (ラジオゾンデ／観測システム) -文字形式通報式
 符号表0 02 011-ラジオゾンデの種類-BUFR

数字符号	BUFRの数字符号	
r,r.		
(符号表3685)	(符号表0 02 011)	
	(略)	
<u>5 1-5 9</u>	<u>5 1-5 9</u>	<u>ラジオゾンデの割り当てのために保留</u>
	(略)	

新

旧

共通符号表 C-3 : 水温プロファイル観測機器の種類

共通符号表 { 符号表 1770 - I₁I₂I₃ (XBTの種類) - 文字形式通報式
符号表 022067 - 水温プロファイル観測機器の種類 - BUFR

数字符号 I ₁ I ₂ I ₃	BUFRの数字符号 (符号表 022067)	観測機器	水深換算式の係数	
			a	b
<u>001</u>	<u>001</u>	<u>Sippican T-4</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>002</u>	<u>002</u>	<u>Sippican T-4</u>	<u>6.692</u>	<u>-2.25</u>
<u>011</u>	<u>011</u>	<u>Sippican T-5</u>	<u>6.828</u>	<u>-1.82</u>
<u>021</u>	<u>021</u>	<u>Sippican Fast Deep</u>	<u>6.346</u>	<u>-1.82</u>
<u>031</u>	<u>031</u>	<u>Sippican T-6</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>032</u>	<u>032</u>	<u>Sippican T-6</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>041</u>	<u>041</u>	<u>Sippican T-7</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>042</u>	<u>042</u>	<u>Sippican T-7</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>051</u>	<u>051</u>	<u>Sippican Deep Blue</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>052</u>	<u>052</u>	<u>Sippican Deep Blue</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>061</u>	<u>061</u>	<u>Sippican T-10</u>	<u>6.301</u>	<u>-2.16</u>
<u>071</u>	<u>071</u>	<u>Sippican T-11</u>	<u>1.779</u>	<u>-0.255</u>
<u>201</u>	<u>201</u>	<u>TSK T-4</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>202</u>	<u>202</u>	<u>TSK T-4</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>211</u>	<u>211</u>	<u>TSK T-6</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>212</u>	<u>212</u>	<u>TSK T-6</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>221</u>	<u>221</u>	<u>TSK T-7</u>	<u>6.472</u>	<u>-2.16</u>
<u>222</u>	<u>222</u>	<u>TSK T-7</u>	<u>6.691</u>	<u>-2.25</u>
<u>231</u>	<u>231</u>	<u>TSK T-5</u>	<u>6.828</u>	<u>-1.82</u>

新					旧
<u>2 4 1</u>	<u>2 4 1</u>	<u>TSK T-10</u>	<u>6. 301</u>	<u>-2. 16</u>	
<u>4 0 1</u>	<u>4 0 1</u>	<u>Sparton XBT-1</u>	<u>6. 301</u>	<u>-2. 16</u>	
<u>4 1 1</u>	<u>4 1 1</u>	<u>Sparton XBT-3</u>	<u>5. 861</u>	<u>-0. 0904</u>	
<u>4 2 1</u>	<u>4 2 1</u>	<u>Sparton XBT-4</u>	<u>6. 472</u>	<u>-2. 16</u>	
<u>4 3 1</u>	<u>4 3 1</u>	<u>Sparton XBT-5</u>	<u>6. 828</u>	<u>-1. 82</u>	
<u>4 4 1</u>	<u>4 4 1</u>	<u>Sparton XBT-5DB</u>	<u>6. 828</u>	<u>-1. 82</u>	
<u>4 5 1</u>	<u>4 5 1</u>	<u>Sparton XBT-6</u>	<u>6. 472</u>	<u>-2. 16</u>	
<u>4 6 1</u>	<u>4 6 1</u>	<u>Sparton XBT-7</u>	<u>6. 472</u>	<u>-2. 16</u>	
<u>4 6 2</u>	<u>4 6 2</u>	<u>Sparton XBT-7</u>	<u>6. 705</u>	<u>-2. 28</u>	
<u>4 7 1</u>	<u>4 7 1</u>	<u>Sparton XBT-7DB</u>	<u>6. 472</u>	<u>-2. 16</u>	
<u>4 8 1</u>	<u>4 8 1</u>	<u>Sparton XBT-10</u>	<u>6. 301</u>	<u>-2. 16</u>	
<u>4 9 1</u>	<u>4 9 1</u>	<u>Sparton XBT-20</u>	<u>6. 472</u>	<u>-2. 16</u>	
<u>5 0 1</u>	<u>5 0 1</u>	<u>Sparton XBT-20DB</u>	<u>6. 472</u>	<u>-2. 16</u>	
<u>7 0 0</u>	<u>7 0 0</u>	<u>Sippican XCTD standard</u>			
<u>7 1 0</u>	<u>7 1 0</u>	<u>Sippican XCTD deep</u>			
<u>7 2 0</u>	<u>7 2 0</u>	<u>Sippican AXCTD</u>			
<u>7 3 0</u>	<u>7 3 0</u>	<u>Sippican SXCTD</u>			
<u>8 0 0</u>	<u>8 0 0</u>	<u>Mechanical BT</u>			
<u>8 1 0</u>	<u>8 1 0</u>	<u>Hydrocast</u>			
<u>8 2 0</u>	<u>8 2 0</u>	<u>Thermistor Chain</u>			
<u>8 3 0</u>	<u>8 3 0</u>	<u>CTD</u>			

新	旧
<p>831-999 保留 831-999 保留 1000-1022 保留 1023 欠測</p>	
<p>注： (1) 水深 z は、係数 a、b 及び時間 t を用いて次式により求める。 $z = at + 10^{-3}bt^2$ (2) 未定義の数字符号は、すべて保留とする。 (3) a 及び b の値は、単なる (参考) 情報である。</p>	

新

旧

共通符号表C-4：水温プロファイル記録器の種類

共通符号表 { 符号表4770-X_RX_R (記録器の種類) - 文字形式通報式
符号表022068-水温プロファイル記録器の種類-BUFR

数字符号 X _R X _R	BUFRの数字符号 (符号表022068)	
<u>01</u>	<u>1</u>	<u>Sippican Strip Chart Recorder</u>
<u>02</u>	<u>2</u>	<u>Sippican MK2A/SSQ-61</u>
<u>03</u>	<u>3</u>	<u>Sippican MK-9</u>
<u>04</u>	<u>4</u>	<u>Sippican AN/BHQ-7/MK8</u>
<u>05</u>	<u>5</u>	<u>Sippican MK-12</u>
<u>10</u>	<u>10</u>	<u>Sparton SOC BT/SV Processor Model 100</u>
<u>20</u>	<u>20</u>	<u>ARGOS XBT-ST</u>
<u>21</u>	<u>21</u>	<u>CLS-ARGOS/Protecno XBT-ST Model-1</u>
<u>22</u>	<u>22</u>	<u>CLS-ARGOS/Protecno XBT-ST Model-2</u>
<u>30</u>	<u>30</u>	<u>BATHY Systems SA-810</u>
<u>31</u>	<u>31</u>	<u>Scripps Metrobyte Controller</u>
<u>32</u>	<u>32</u>	<u>Murayama Denki Z-60-16 III</u>
<u>33</u>	<u>33</u>	<u>Murayama Denki Z-60-16 II</u>
<u>34</u>	<u>34</u>	<u>Protecno ETSM2</u>
<u>35</u>	<u>35</u>	<u>Nautilus Marine Service NMS-XBT</u>
<u>40</u>	<u>40</u>	<u>TSK MK-2A</u>
<u>41</u>	<u>41</u>	<u>TSK MK-2S</u>
<u>42</u>	<u>42</u>	<u>TSK MK-30</u>
<u>43</u>	<u>43</u>	<u>TSK MK-30N</u>
<u>99</u>	<u>99</u>	<u>不明</u>
	<u>127</u>	<u>欠測</u>

注：未定義の数字符号はすべて保留とする。

新		旧
共通符号表 C - 5 : 衛星識別符		
共通符号表	<u>I I I I</u> 文字形式通報式 符号表 0 01 007 BUFR	
数字符号	BUFR	
<u>I I I I</u>	(符号表 0 01 007)	
(10位が偶数は極軌道衛星であることを, 奇数は静止衛星であることを示す。)		
<u>0 0 0</u>	<u>0 0 0</u>	保留
<u>0 0 1 - 0 9 9 : 欧州連合に割り当てられている</u>		
<u>0 0 1</u>	<u>0 0 1</u>	<u>ERS 1</u>
<u>0 0 2</u>	<u>0 0 2</u>	<u>ERS 2</u>
<u>0 2 0</u>	<u>0 2 0</u>	<u>SPOT 1</u>
<u>0 2 1</u>	<u>0 2 1</u>	<u>SPOT 2</u>
<u>0 2 2</u>	<u>0 2 2</u>	<u>SPOT 3</u>
<u>0 2 3</u>	<u>0 2 3</u>	<u>SPOT 4</u>
<u>0 5 0</u>	<u>0 5 0</u>	<u>METEOSAT 3</u>
<u>0 5 1</u>	<u>0 5 1</u>	<u>METEOSAT 4</u>
<u>0 5 2</u>	<u>0 5 2</u>	<u>METEOSAT 5</u>
<u>0 5 3</u>	<u>0 5 3</u>	<u>METEOSAT 6</u>
<u>0 5 4</u>	<u>0 5 4</u>	<u>METEOSAT 7</u>
<u>1 0 0 - 1 9 9 : 日本に割り当てられている</u>		
<u>1 5 0</u>	<u>1 5 0</u>	<u>GMS 3</u>
<u>1 5 1</u>	<u>1 5 1</u>	<u>GMS 4</u>
<u>1 5 2</u>	<u>1 5 2</u>	<u>GMS 5</u>
<u>2 0 0 - 2 9 9 : アメリカ合衆国に割り当てられている</u>		
<u>2 0 0</u>	<u>2 0 0</u>	<u>NOAA 8</u>
<u>2 0 1</u>	<u>2 0 1</u>	<u>NOAA 9</u>
<u>2 0 2</u>	<u>2 0 2</u>	<u>NOAA 10</u>
<u>2 0 3</u>	<u>2 0 3</u>	<u>NOAA 11</u>

新			旧
<u>204</u>	<u>204</u>	<u>NOAA12</u>	
<u>205</u>	<u>205</u>	<u>NOAA14</u>	
<u>206</u>	<u>206</u>	<u>NOAA15</u>	
<u>220</u>	<u>220</u>	<u>LANDSAT4</u>	
<u>221</u>	<u>221</u>	<u>LANDSAT5</u>	
<u>222</u>	<u>222</u>	<u>LANDSAT7</u>	
<u>240</u>	<u>240</u>	<u>DMSP7</u>	
<u>241</u>	<u>241</u>	<u>DMSP8</u>	
<u>242</u>	<u>242</u>	<u>DMSP9</u>	
<u>243</u>	<u>243</u>	<u>DMSP10</u>	
<u>244</u>	<u>244</u>	<u>DMSP11</u>	
<u>245</u>	<u>245</u>	<u>DMSP12</u>	
<u>246</u>	<u>246</u>	<u>DMSP13</u>	
<u>250</u>	<u>250</u>	<u>GOES6</u>	
<u>251</u>	<u>251</u>	<u>GOES7</u>	
<u>252</u>	<u>252</u>	<u>GOES8</u>	
<u>253</u>	<u>253</u>	<u>GOES9</u>	
<u>254</u>	<u>254</u>	<u>GOES10</u>	
<u>255</u>	<u>255</u>	<u>GOES11</u>	
<u>256</u>	<u>256</u>	<u>GOES12</u>	
		<u>300-399 : ロシア連邦に割り当てられている</u>	
<u>310</u>	<u>310</u>	<u>GOMS1</u>	
<u>311</u>	<u>311</u>	<u>GOMS2</u>	
		<u>400-499 : インドに割り当てられている</u>	
<u>430</u>	<u>430</u>	<u>INSAT 1B</u>	
<u>431</u>	<u>431</u>	<u>INSAT 1C</u>	
<u>432</u>	<u>432</u>	<u>INSAT 1D</u>	
<u>450</u>	<u>450</u>	<u>INSAT 2A</u>	
<u>451</u>	<u>451</u>	<u>INSAT 2B</u>	
<u>452</u>	<u>452</u>	<u>INSAT 2E</u>	
<u>470</u>	<u>470</u>	<u>INSAT 3A</u>	
<u>471</u>	<u>471</u>	<u>INSAT 3D</u>	
<u>472</u>	<u>472</u>	<u>INSAT 3E</u>	

新		旧
<u>500-599 : 中国に割り当てられている</u>		
<u>500</u>	<u>500</u>	<u>FY-1C</u>
<u>501</u>	<u>501</u>	<u>FY-1D</u>
<u>510</u>	<u>510</u>	<u>FY-2</u>
<u>600-699 : 欧州連合に割り当てられている</u>		
<u>700-799 : アメリカ合衆国に割り当てられて</u>		
<u>いる</u>		
<u>700</u>	<u>700</u>	<u>TIROS M (ITOS 1)</u>
<u>701</u>	<u>701</u>	<u>NOAA 1</u>
<u>702</u>	<u>702</u>	<u>NOAA 2</u>
<u>703</u>	<u>703</u>	<u>NOAA 3</u>
<u>704</u>	<u>704</u>	<u>NOAA 4</u>
<u>705</u>	<u>705</u>	<u>NOAA 5</u>
<u>706</u>	<u>706</u>	<u>NOAA 6</u>
<u>707</u>	<u>707</u>	<u>NOAA 7</u>
<u>708</u>	<u>708</u>	<u>TIROS-N</u>
<u>710</u>	<u>710</u>	<u>GOES (SMS 1)</u>
<u>711</u>	<u>711</u>	<u>GOES (SMS 2)</u>
<u>731</u>	<u>731</u>	<u>GOES 1</u>
<u>732</u>	<u>732</u>	<u>GOES 2</u>
<u>733</u>	<u>733</u>	<u>GOES 3</u>
<u>734</u>	<u>734</u>	<u>GOES 4</u>
<u>735</u>	<u>735</u>	<u>GOES 5</u>
<u>800-998</u>	<u>800-998</u>	<u>保留</u>
<u>999</u>	<u>999-1022</u>	<u>保留</u>
	<u>1023</u>	<u>欠測</u>